

概要

21 世紀は環境の世紀とされ、「温暖化問題」、「酸性雨問題」、「ゴミ問題」、「環境ホルモン」、「ダイオキシン」などの用語が日常的に使われるようになりました。本講義では、そもそも「環境」とは何か、なぜ環境問題が発生するのか、問題を解決する方法と問題発生を防ぐ方法はないのか、また環境と経済はどのような関係があるのかなどについて、身近なところから事例を取り上げ、考えていきます。

進め方

講義（小テスト&発表あり）+ゼミ形式（グループ発表 or ディベート）。講義時、資料を配布する予定。なお、理解度を把握するため、小テストを実施する場合があります。

系統的履修科目

環境論、環境経済学

テキスト

天野明弘「環境との共生をめざす総合政策入門」有斐閣アルマ 1997 年

参考文献

植田和弘、「環境と経済を考える」、岩波書店、1998 年

植田和弘「環境経済学への招待」丸善 1998 年

試験と成績評価

期末試験（60%）、授業中発表&小テスト（10%）、グループ発表の結果（30%）

担当者から一言

第 1 回目の授業で、授業方法を決定するので、必ず参加してください。本講義では、「積極的な授業参加」と「考える」を基本として授業を進めます。積極的に授業に参加し、自分の考えを発表する意思がある学生を歓迎します。迷惑行為：厳禁。

【連絡先】

研究室：紫英館 5F-509、office hour：月 4・5 時限

TEL：075-642-1111

Email：tlee@econ.ryukoku.ac.jp